

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和1年9月12日(2019.9.12)

【公開番号】特開2019-14750(P2019-14750A)

【公開日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【年通号数】公開・登録公報2019-004

【出願番号】特願2018-198260(P2018-198260)

【国際特許分類】

C 07 C 51/44 (2006.01)

C 07 C 57/07 (2006.01)

C 07 C 51/21 (2006.01)

【F I】

C 07 C 51/44

C 07 C 57/07

C 07 C 51/21

【手続補正書】

【提出日】令和1年8月2日(2019.8.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プロパン、プロピレン又はアクリロレンを原料とする気相接触酸化反応により得られたアクリル酸をスチームエジェクタにより減圧蒸留する工程を含むアクリル酸の製造方法であって、

該減圧蒸留工程が、該スチームエジェクタの吸引口の外面、真空部の外面、及びディフューザーの外面を加熱する工程を含む、アクリル酸の製造方法。

【請求項2】

前記スチームエジェクタの前記各外面をスチームトレースを用いて加熱する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記スチームエジェクタの前記各外面を電熱ヒーターを用いて加熱する、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記スチームエジェクタの前記各外面を50以上に加熱する、請求項1~3のいずれか1項に記載の方法。

【請求項5】

前記スチームエジェクタが多段である、請求項1~4のいずれか1項に記載の方法。

【請求項6】

前記スチームエジェクタの下流に液封式の真空ポンプが配置される、請求項1~5のいずれか1項に記載の方法。

【請求項7】

スチームエジェクタを用いた易重合性化合物の減圧蒸留の方法であって、該スチームエジェクタの吸引口の外面、真空部の外面、及びディフューザーの外面を加熱する工程を含む、方法。

【請求項8】

前記易重合性化合物がアクリル酸又はアクリル酸エステルである、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記易重合性化合物が、プロパン、プロピレン又はアクロレインを原料とする気相接触酸化反応により得られたアクリル酸である、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記スチームエジェクタの前記各外面をスチームトレースを用いて加熱する、請求項 7 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 11】

前記スチームエジェクタの前記各外面を電熱ヒーターを用いて加熱する、請求項 7 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 12】

前記スチームエジェクタの前記各外面を 50 以上に加熱する、請求項 7 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 13】

前記スチームエジェクタが多段である、請求項 7 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 14】

前記スチームエジェクタの下流に液封式の真空ポンプが配置される、請求項 7 ~ 13 のいずれか 1 項に記載の方法。